

平成21年度 シラバス	学年・期間・区分	5年次・前期・A群
	対象学科・専攻	情報工学科
集積回路工学 (Integrated Circuit Technology)	担当教員	大脇 光一 (Owaki, Koichi)
	教員室	学生共通棟1階 非常勤講師室
	E-Mail	Koichi.Owaki@jp.sony.com
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義 / 学修単位[講義Ⅰ] / 1単位	
週あたりの学習時間と回数	〔授業(100分) + 自学自習(80分)〕 × 15回	
〔本科目の目標〕 半導体とは何か、意外と知られていないその素顔を、物性と構造から機能と原理を理解し、実際に製造現場で行われている製造方法を学ぶことで、その応用範囲の可能性を探ることを目標とする。		
〔本科目の位置付け〕 半導体について幅広く学習する為、高校程度の物理・化学・数学・および基礎的な電気・機械工学の基礎知識が必要である。		
〔学習上の留意点〕 講義の内容は必ず復習する事。詳細を覚える事は不要であるが、現象の本質を理解し、自分の知見として概略を理解する。講義の内容をよく理解するために、予習としてテキストを熟読し、配布資料の課題を含む復習の80分の自学自習が必要である。		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
1.半導体の概要	2	身近な例から半導体を探し、その半導体がどのように発展し産業界に影響を与えたか、また昨今の日本における産業界の変革が理解できる。
2.P型、N型 真性半導体	4	半導体を構成する元素とその個々の特性から、基本的なP型、N型、真性半導体の動作を簡単なバンド理論を元に理解できる。
3.PN接合	4	半導体の特性をバンド理論から導きだし、PN接合で何故整流作用が可能となるのか理解できる。
4.バイポーラトランジスタ、	2	バイポーラの構造、特性を、NPNトランジスタを例に電子の流れで大まかな概要が理解できる。
5.MOSトランジスタ	2	MOSキャパシタの構造、動作原理を理解し、MOSトランジスタの基本特性を理解し、簡単なインバータ回路の仕組みが理解できる。
6.LSI	2	LSIとは何か、その種類と、機能を大別し理解する。
---前期中間試験---		授業項目1.～6.について達成度を確認する。
7.半導体製造環境	2	LSIの製造現場に求められる条件を経済、環境、技術の観点から理解できる。
8.半導体製造方法Ⅰ (ウェーハ工程)	6	大まかな半導体のウェーハ製造の流れが理解できる。 ウェーハ工程を、シリコン原料から結晶製造を製造し、実際に半導体工場で行っている製造過程を追いながら、原理、製造装置が理解できる。
9.半導体製造方法Ⅱ (組立・実装工程)	4	大まかな半導体の組立・実装の製造の流れが理解できる。 シリコンから切り出したチップが部品として加工される過程を図解を元に理解できる。
10.その他の半導体 (CCD/MEMS)	2	半導体の技術から生まれた特徴的なCCD、新たに今後が期待されるMEMSの可能性などを理解できる。
---前期期末試験---		授業項目 1.～6.について達成度を確認する。(20%出題) 7.～10.について達成度を確認する。(80%出題)
試験答案の返却・解説		各試験において間違った部分を理解できる。
〔教科書〕 入門ビジュアルテクノロジー 半導体のすべて 菊池正典著		
〔参考書・補助教材〕 よくわかる最新半導体の基本と仕組み 半導体/LSIテクノロジー入門 西久保靖彦 秀和システム 半導体産業と先端技術 米津宏雄 工学図書株式会社		
〔成績評価の基準〕 試験(中間、期末)成績(100%)－授業態度(上限20%)		
〔本科(準学士課程)の学習教育目標との関連〕 3-c		
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕 3-1		
〔JABEEとの関連〕 (d)(1)③		